

令和5年11月8日

6年生保護者様

廿日市市立宮園小学校
校長 向井畑 透

令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

令和5年4月18日に実施された令和5年度全国学力・学習状況調査（学力テスト）の結果と分析について、お知らせします。

教科に関する調査（平均正答率）

	国語科	算数科
宮園小学校	70%	69%
広島県	69%	64%
全国	67.2%	62.5%

国語科・算数科ともに、全国・県の正答率を上回っており、学習の基礎・基本を身に付けることができています。しかしながら、各問題の正答率を見ていくと、国語科・算数科において正答率60%を下回る問題がありました。

国語科

◆正答率が60%を下回った問題

- ・「書くこと」：図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
（正答率26.7%・・・8人/30人）
 - ・「読むこと」：文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
（正答率50.0%・・・15人/30人）
 - ・「知識技能」：情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。（情報の扱い方に関する事項）
（正答率46.7%・・・14人/30人）
- ：日常よく使われる敬語を理解すること。（言葉の特徴や使い方に関する事項）
（正答率53.3%・・・16人/30人）

◆課題

- ・条件のある記述
「複数」の条件を満たして記述によって答えることに課題があると考えられます。
- ・「物語文」や「説明文」ではないテキストの読み取り
「話し合いの場面」や「修正前後の文章の比較」などの読み取りに課題があると考えられます。

◆今後の取組

- ・感想や自分の考えを記述する際、条件を付けて書かせるなど、条件を意識するような課題を出していきます。
- ・家庭学習において、テーマを与えた作文や新聞に掲載されているコラム等の視写を取り入れます。
- ・社会において、キャプションと説明している本文を線でつなげる等、情報と情報に関係づける活動を取り入れます。
- ・日常的に、敬語の指導をしていきます。

算数科

◆正答率60%を下回った問題

- ・「図形領域」：正三角形の意味や性質について理解すること。
(正答率23.3%…7人/30人)
高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。
(正答率23.3%…7人/30人)
- ・「データの活用」：示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述すること。
(正答率56.7%…17人/30人)

◆課題

- ・知識・技能を活用すること
生活場面で自分の知識を使って問題を解くことや、複数の資料やデータを読み取り、比較することに課題があると考えられます。
- ・図形領域に関すること
図形の構成要素や図形の意味や性質の理解が十分でないと考えられます。

◆今後の取組

- ・知識・技能を活用するために、発展問題や学習コーナーなどで日常生活に生かす場面に触れさせます。活用する場面として、社会科や理科等の他教科、総合的な学習の時間において、図やグラフ等の読み取りや作成を積極的に取り入れます。
- ・図形の意味や性質、構成要素について体験を通して、実感を伴った理解につなげます。

児童質問紙

質問事項	宮園小	広島県	全国
授業では、課題解決に向けて、自分で考え取り組んでいましたか。	80%	79%	79%
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	80%	79%	78%
授業以外に平日1日当たり、1時間以上勉強していますか。	60%	58%	57%
学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	77%	84%	82%
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	70%	78%	77%

課題の見た家庭学習については、予習を取り入れる、ICTを使った課題を出す、課題を1週間分まとめて出すなど方法や内容の工夫を取り入れていきます。また、話し合う活動については、自分の考えを安心して言える雰囲気を土台として、国語科では討論、算数科・理科ではペア・グループ学習、社会科の自由進度学習では「〇〇会議」などを意図的に取り入れています。今後は、児童が「話したい！伝えたい！」と思えるテーマを設定し、話し合うことの楽しさを十分に味わわせることを通して、自分の考えを持ったり、自分の考えと友達の考えを比較したりするといった段階を踏みながら、他者とのコミュニケーションの楽しさを味わわせていきます。

教育活動全体を通して身に付けた「主体的に学びに向かう態度」を地域や社会に生かしつないでいくために、総合的な学習の時間の学習内容の充実と地域行事への参加を通して、自分にできることは何かを考えさせながら、地域や社会の担い手としての意識を高めていきます。